



外国出張報告書

平成 26 年 3 月 30 日

1. 出張国名 モザンビーク
2. 出張月 平成 25 年 4 月～5 月
3. 出張目的 JICA 技プロ「ナカラ回廊農業開発研究・技術移転能力向上プロジェクト」における研究調査業務:A

4. 成果の概要

NTC インターナショナル（株）を幹事会社として、JICA から受託している「ナカラ回廊農業開発研究・技術移転能力向上プロジェクト」の第 2 年次契約に基づく活動として、今回第 4 回目の渡航にて、副チーフアドバイザー兼栽培 1 専門家として現地業務を行った。これは、日伯モの三角協力プログラム ProSAVANA の一プロジェクト（略称 PI）である。

これまでの ProSAVANA-PI 活動に対しては、「三角協力の図が描けていない」、「日本とブラジルの活動がバラバラである」等の批判が委託元の JICA やカウンターパートのモザンビーク側から出されており、改善が求められるところ、今回の出張においてプロジェクト成果毎の三国のリーダーが会して活動の harmonization を話し合う、いわゆるアウトプットリーダー会議（OLM）を WS 形式で実施した。結果、成果 3（土壌関連技術）と成果 4（作物関連技術）について計 14 の Technical Document（三国の役割分担を明確に記した試験研究プロトコル）を作成した。

一方外部からは、ProSAVANA が土地収奪を促しているとの批判が高まっており、これに対する毅然とした対応が求められている。

PI プロジェクトとしては、小農が豊かになるというビジョンで技術開発を進めていることを広く宣伝すべきと考え、農家向け、市民社会向けの活動を位置付ける方針を内部の技術調整会議（TCM）で固めつつある。

また今回の出張では、他の専門家と協力し、2013/2014 年作季の多地点連携圃場試験の収量調査作業を進め、分析のための試料を調製し、一部を日本に輸入した。

そのため IIAM と JIRCAS の間での MTA 締結の準備も行った。